

2017年3月期 中間報告書 2016.4.1-2016.9.30

B u s i n e s s R e p o r t 2 0 1 7

I n t e r i m



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今期(2016年度)は、2015年度を初年度とする6ヶ年の中期経営戦略「らしさ」の追求2020」における「成長戦略への基盤づくり」の最終年度として、経営基盤の強化を着実に実行するとともに、2018年度以降の新規路線開設を目指し、国際線も視野に入れた路線検討を進めております。また、社内では変化の「変」を今年の一文字とし、様々な仕組み改革に取り組んでおります。

当上期の業績は、昨年度に売り出した若年層向けの「スターユース」運賃などの好調に加え、旅行商品の拡充などで営業収入が順調に推移しました。また、原油価格は低位安定、為替の円高進行、さらに社員によるコスト削減努力もあり、利益面は順調な数字となりました。

本年12月には、航空機1機をリースにて導入し、10機体制となります。これにより2017年度以降は計画整備運休が解消でき、お客様のご不便を減らせるようになります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役
社長執行役員
松石 禎己

2016年11月

中期経営戦略 2016年度ローリング版の全体像

2016年度は、Phase I(2015年度～2016年度)の最終年度として、経営基盤の強化を着実に実行するとともに、2017年度以降の「持続的成長」に向けた各種取り組みに着手します。



Phase I	経営基盤の強化 (2015年度～2016年度)	基礎体力をつけることに傾注し、2017年度以降の成長戦略に備えます
Phase II	持続的成長 (2017年度～2020年度)	成長戦略を推し進め、新たな飛躍を具現化します
ビジョン2020 “ありたい姿”	“スターフライヤーらしさ”を追求し、質にこだわることでお客様に選ばれる企業をめざします	



Q1 当上期の業績はいかがでしたか。

半期での過去最高益となりました。

当上期は、5月から7月にかけて2機の6年定期点検整備のため、1機少ない状態での運航となり、他機材の整備作業と合わせて約80日間の計画運休がありました。そのため生産量^(※)は前年同期比96.2%となり、通常期と比べお客様にはご不便をおかけしました。

生産量が減少する中においても、若年層向け「スターユース」運賃の販売促進や、「サンクス10thアニバーサリーセール」、マイル還元の「MILLION STARS(ミリオンスターズ)」キャンペーンなどの増収施策に努めた結果、座席利用率は前年同期比5.9ポイントアップとなり、集客は順調でした。また、営業収入は前年同期比では減収となったものの、レバニユーマネジメントの強化や各部署での取り組みにより計画を上回ることができました。

前年同期と比較して原油価格は低い水準であり、また為替相場も円高ドル安に進んだ影響が大きく、営業費用が大幅に減少し、半期での過去最高益となりました。

これらの結果、当上期の業績は、営業収入は16,844百万円、営業利益は2,027百万円、経常利益は1,898百万円、四半期純利益は1,349百万円となりました。

※ コードシェア販売を含む総提供座席キロ

Q2 通期業績予想の修正について、ポイントを教えてください。

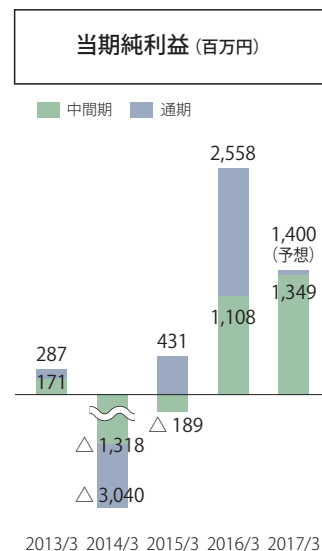
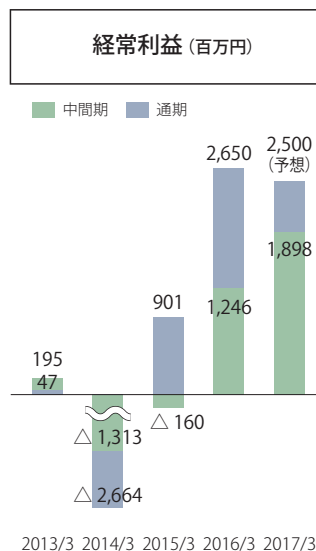
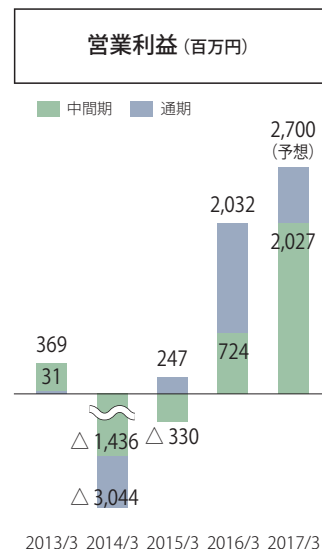
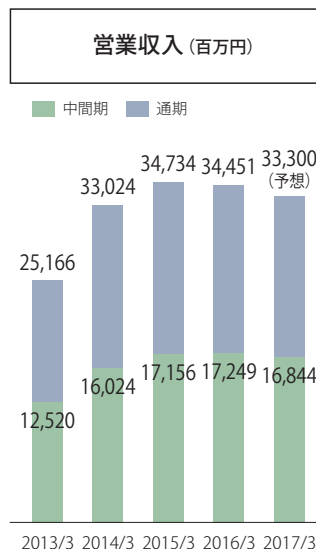
燃料費抑制環境も寄与し、業績は上向いております。

当社のコストは、原油価格や為替相場など市場の動向によって大きく増減します。

当上期は、当初の想定レートを超える円高進行で、燃油費や外貨建て費用が大きく抑えられました。

こうした状況を受けて、本年7月29日に業績予想の上方修正を公表しました。修正予想では、想定レートを足元の為替レートに近づけるように見直しました。第2四半期以降は、為替レートは1米ドル110円、1ユーロ125円、ドバイの原油価格レートは1バレル52ドル相当を前提としています。

下期については、市場での競争の激化に加え、12月受領に伴い発生する航空機リース料、将来に向けたシステム投資関係等の一時的な費用負担、2018年度以降に向けた人材の前倒し採用などにより、上期に比べ大きな費用が発生する見込みです。





Q3 中期経営戦略の一部改訂の概要と進捗状況を教えてください。

成長基盤構築に向けた“変革”が確実に進んでいます。

“2016年度ローリング版”は、経営環境の変化に対応するための改訂版です。現行路線ネットワークを事業の基軸としつつ、新規定期路線開設を目指していくことを明確にしました。また将来の基盤となる人財戦略を強化するとともに、業務の効率化・働き方改善と、今後の生産量拡大と路線ネットワーク拡大に向けた基盤構築を行う情報システム戦略を新しく策定いたしました。

進捗状況ですが、今期は中期経営戦略Phase I(2015-2016)「成長戦略への基盤づくり」の最終年度として、将来に備えた経営基盤強化を進めています。また社内では、変化の「変」を今年の一文字として、変えるべきところは積極的に変えていくよう、号令をかけています。

最重点テーマは、国際線も視野に入れた2018年度以降の路線検討およびそれに伴う旅客システムへの投資です。機内サービスについては、前倒しで2017年度から新サービス開始を検討しており、Webサイ

ト・メール連絡などお客様の利便性の向上についても、当下期に実現を図りたいと考えています。また、昨年度末に導入したレベニューマネジメントシステムの精度向上と積極的活用や、スターフライヤーらしい社員像の実現を企図した教育研修制度の体系化と実現などへの取り組みを通じて、「スラーフライヤーらしさ」を追求し、質にこだわることでお客様に選ばれる企業を目指してまいります。

Q4 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

皆様のご支援、ご愛顧に感謝申し上げます。

株主の皆さまをはじめ多くの方々に支えられて、当社は就航10周年を迎えました。

これからの10年、またその先についても、お客様の心や環境の変化を素早く読み取り、“スターフライヤーらしい”新しいサービスを創造することで成長を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、より一層のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

「スターフライヤーらしさ」の追求に向け、様々な取り組みを展開

取り組み
事例

1

「NAKASU JAZZ 2016」にて
就航10周年イベント



福岡中洲で毎年行われる「NAKASU JAZZ」。スターフライヤーは就航10周年を記念して、2016年の開催において協賛し、「STARFLYER presents キャナルシティ博多 BLACK STAGE」を開催しました。

取り組み
事例

2

訪日外国人旅行者向け運賃を新設



近年増加する訪日外国人旅行者の方に、スターフライヤーの快適な空の旅でより“オトク”に日本を旅行していただくために。

Fly JAPAN Value Fare (訪日外国人旅行者向け運賃)

東京(羽田)⇄北九州
東京(羽田)⇄福岡
東京(羽田)⇄山口宇部

東京(羽田)⇄大阪(関西)
名古屋(中部)⇄福岡

9,000円

7,000円

※予約・発売開始日からご搭乗日の前日まで、スターフライヤー公式サイトでのみ受け付けています。

※日本以外のパスポートと日本着および日本発の国際航空券情報(eチケットお客様控え)の提示が必要です。



“おんせん県の元氣をつくる”大分復興支援

GO! OITA おおいたへ行こうキャンペーン



平成28年4月熊本・大分地震の復興支援の一環で、被災地をはじめ九州全体の復旧・復興を願い「GO! OITA おおいたへ行こうキャンペーン」を行いました。

“日本一のおんせん県”大分は、地震による観光面への影響を受けていました。そこで、スターフライヤーは、「でも、おんせん県はとても元氣です。だからこそ、大分のたくさんの温泉地に足を運んでほしい。まずは別府から、おんせん県の元氣を発信します。元氣な別府が、おんせん県の元氣をつくる。」との思いで、スターフライヤーらしい復興支援のかたちを実行しました。

また、本年4月24日に東九州道が全線開通しました。これにより北九州空港から大分へのアクセスが時間短縮され、より快適になりました。

「ふるさと応援寄付」
ふるさと納税返礼品

スターフライヤーは地元企業として地域振興のお手伝いをしたいと考え、ふるさと納税の返礼品を提供しています。

福岡県
行橋市

マイルが貯まります
寄付額1万円毎=2,000マイル

福岡県
苅田町

航空会社初!
フライトシミュレーター体験

※ 実施日程および数量に制限がございます。

07

就航路線のご案内 (2016年10月31日現在)

コードシェア

すべての路線で全日本空輸株式会社(ANA)とのコードシェア(共同運航)を実施。

販売座席数は両社で固定のため、一方の便が満席の場合でも、他方の便に空席がある場合がございます。

羽田空港における
ターミナルのご案内

コードシェア対応等も考慮して、目的地によって羽田空港のターミナルが分かれております。

≫ 第1ターミナル

北九州-羽田線

≫ 第2ターミナル

関西-羽田線

福岡-羽田線

山口宇部-羽田線

第2ターミナルでの搭乗手続きは2階ANAカウンター(全てのANAカウンター、ANA自動チェックイン機)で承ります。

08



当社では、日頃のご支援にお応えするとともに、当社のサービス内容をより一層ご理解いただき、長く当社株式を保有していただくことを目的に株主優待券を発行しています。

自社営業国内定期路線に使用できる優待券

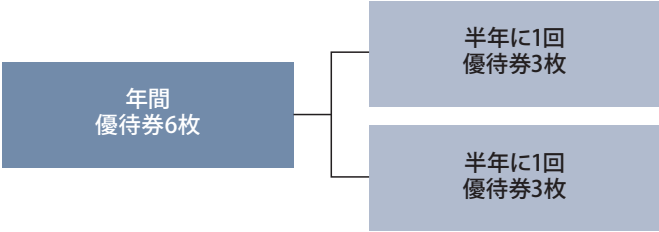
- 優待券1枚で、片道1区間搭乗時大人普通運賃の50%割引（満3歳～11歳の方は小児運賃の50%割引）

ご所有株式数100株以上で100株につき3枚※

- 有効期間（搭乗可能期間）▶ 3月 権利確定分： 6月1日～11月30日
9月 権利確定分：12月1日～ 5月31日

※ ご所有株式数200,000株以上で6,000枚が上限となります。

所有株式数 100株につき



▶ 空港カウンター、旅行代理店で株主優待券を提出し、航空券をご購入ください。インターネット、コールセンターではご予約のみ可能です。

会社概要



会社概要 (2016年9月30日現在)

社名	株式会社 スターフライヤー (Star Flyer Inc.)
本社	〒800-0306 福岡県北九州市小倉南区空港北町6番 北九州空港スターフライヤー本社ビル TEL.093-555-4500
代表者	代表取締役 社長執行役員 松石 禎己
設立日	2002年12月17日 (ライト兄弟フライヤー号初飛行から100年目)
事業開始	2006年3月16日
資本金	1,250百万円

株式の状況 (2016年9月30日現在)

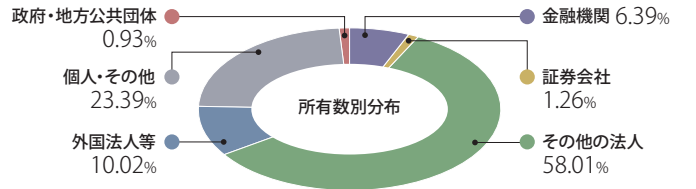
発行可能株式総数	10,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式総数	2,865,640株	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
株主数	2,875名		

役員一覧 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	松石 禎己
取締役常務執行役員	柴田 隆
取締役執行役員	宮島 俊司
取締役執行役員	森山 伸也
社外取締役	斉藤 淳
社外取締役	峯口 秀喜
社外取締役	前原 典幸

社外取締役	目原 弘一
常勤監査役	石丸 靖彦
社外監査役	片山 憲一
社外監査役	中平 雅之
執行役員	石山 健二
執行役員	松浦 祐之助
執行役員	伊藤 裕一
執行役員	山下 照彦

株式分布状況 (2016年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/

<http://www.starflyer.jp/>

株式に関する住所 変更等の届出 および照会について	証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。 証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。
公告の方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 https://www.starflyer.jp/starflyer/koukoku.html
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第二部



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。